

文学部史学・文化財学科

史学・文化財学科の取り組み

教授 松森 武嗣

「別府大学教員採用試験対策勉強会」は、顧問教員のアドバイスを受けながらも、「主体性」「連携」「継続性」の基本方針のもとで、中学・高校教員を目指している史学・文化財学科所属の有意な学生が参加し運営している勉強会です。

立ち上げ9年目である平成29年度の活動状況としては、夏休み、冬休みと春休み期間を除いた前・後期を通じて、日本史と世界史を交互で週2回、教科書の單元ごとに授業形式で、メンバー輪番制のもと、前期では日本史は近現代、世界史は現代を、後期では日本史は近世、世界史は近代をやり、知識の定着を目指しました。特に、毎回のように復習小テストを取り入れることで、基礎固めを図りました。

ただ、相変わらず参加者が少なくなっていくのが気がかりとなっています。そのためか、年1回の歴史能力検定試験への受検者も減少しています。

国際経営学部国際経営学科

国際経営学科の取り組み

准教授 高木 正史

平成29年度における国際経営学科4年生の教職課程履修者は以下の1名である。

氏名	出身高等学校	教育実習校	交付見込免許状
後藤 航さん	楊志館高等学校	同左	商業・情報

後藤航さんは楊志館高等学校の教育実習に赴き、筆者も教育実習視察業務として、後藤さんの授業を参観する機会を得た。さらに、筆者は毎年明豊高等学校教諭の戸高智幸氏と「簿記」をテーマとした高大連携事業を展開しており、平成29年度は戸高氏が担当する普通科総合進学クラス情報・経営コースの2年生の生徒に2月に本学に来学してもらい、戸高氏と共同で日商簿記検定対策を実施した。同時に、後藤さんに我々の指導サポートを依頼した。教育実習を終えた後藤さんは積極的に我々の指導サポートに取り組むことができた。後藤さんの教員としての今後の活躍を期待してやまない。

## 文学部国際言語・文化学科（日本語・日本文学コース）

### 国際言語・文化学科・国語科教員採用試験に向けて

教授 高木 伸幸

国際言語・文化学科では、国語科教員を目指す学生を対象とする教員採用試験勉強会を今年も開催しました。今年で8年目になります。さまざまな国語試験問題を解き、中学・高校国語の教科専門試験に対応できる学力を身につけていくのが目的です。

平成29年度は、例年より遅れて2月からスタートとなりましたが、4月以降は教育実習期間を除いて、7月の公立学校教員採用試験までほぼ毎週行われました。

この勉強会に参加していた学生の中から、過去5年間で採用試験の合格者を現役では8名（私立高校・公立中学校合計）、既卒生では7名（確認された範囲、公立中学校・高校合計）出して参りましたが、今年度も、現役生では私立高校に、既卒生では公立高校に、それぞれ採用試験合格者を出すことができました。

次年度に向けた3年生による勉強会が既にスタートしております。今後も国語教員をめざす学生諸君の夢の実現に向けて活動を続けていく所存です。

## 文学部教職課程

### 別府市立南小学校学習支援ボランティア

講師 針塚 瑞樹

別府市立南小学校から「サマースクール」の学習支援ボランティアの要請があり、教職課程履修者を中心に「教育原論」「教育職の研究」の受講生に学習支援ボランティアを募ったところ、10名の大学生から協力を得て、以下のように小学生の学習支援を行った。

実施期間：平成29年7月21日～7月25日、8月30日、31日の5日間

参加者：人間関係学科1年	5名
史学・文化財学科2年	3名
国際言語・文化学科3年	1名
発酵食品学科3年	1名

参加者の中には、5日間すべて参加してくれた大学生もあり、小学校の先生方からは大学生に勉強を教わることやお兄さんお姉さんと交流することを小学生が喜んでいたり感謝の言葉を頂いた。参加した大学生からは小学生が喜んでくれたことがうれしかったという感想が寄せられた。教職履修をスタートしていない1年生にとっても、教職について考える良い機会になったと思う。今後も地域の学校の行事等への参加協力に可能な限り応じ、大学生が教育現場や児童生徒について学ぶ機会とできればと考えている。